

森林計画学会 2018 年度総会報告

日時：2019年3月23日(土)AM10:00~12:00

場所：朱鷺メッセ（201A会議室）

2018 年度事業報告

齋藤事務局長から以下の通り報告があり、了承された。

1. 日韓台共同シンポジウム（2018 SFEM Symposium）を日月潭（台湾）にて共催した（8月28日～8月31日）。
2. 森林計画学会秋季セミナー・秋季発表会を東京大学にて開催した（9月13,14日）。学会誌（51(2), 52(1), 英文誌 22(2)-24(2)）を発行した。
3. 学会ニュースを発行した（2018年度1号～10号）。
4. 日本農学会に参加し、役員として評議員：白石則彦氏、運営委員：龍原哲氏が参画した。
5. JABEE（日本技術者教育認定機構）に運営委員として白石則彦氏が参画した。
6. 森林・木材・環境アカデミーに参加した。
7. 2019年森林計画学会賞の選考を行った。
 - (ア) 【森林計画学賞】
該当なし
 - (イ) 【黒岩菊郎記念研究奨励賞】
太田 徹志
業績の題名： Estimation of Airborne Lidar-Derived Tropical Forest Canopy Height Using Landsat Time Series in Cambodia
 - (ウ) 【南雲秀次郎記念学生奨励賞】
該当なし
8. 関連する研究集会・シンポジウムを共催した。
 - (ア) 森林計画学会・森林利用学会若手合同セミナーin 朝来を共催した（8月21日～23日）。
 - (イ) 国際シンポジウム FORMATH OKINAWA 2019 を共催した（3月7日～8日）。
9. 関連する研究集会・シンポジウムを後援した。
 - (ア) 森林 GIS フォーラム技術セミナー（7月4、5日京都大学和歌山研究林）。
 - (イ) 森林 GIS フォーラム 平成30年度 地域シンポジウム in 北海道（10月9日）。
 - (ウ) 森林 GIS フォーラム 平成30年度 東京シンポジウム（2月30日）。
 - (エ) 日本林業成長産業化シンポジウム「ICTスマート精密林材業によるサプライチェーンシステム in 東京」（1月17日）。
 - (オ) 平成30年度国際セミナー『REDD プラスはどこまで来たか？ 機会を活かすために』（2月6日）。
10. 理事会の開催
 - (ア) 常任理事会を1回、また必要に応じて地区理事を含めたメールによる審議を行い、本会の運営に関わる重要事項を審議した。
11. 春季シンポジウムおよび総会を高知大学において開催した（3月29日）。

2018 年度会計決算報告

西園会計担当理事より別表の通り報告があり、了承された。

2018 年度会計監査報告

立花監事より報告立花・興梠両監事による会計監査の結果、学会の会計には問題がない旨の報告があり、了承された。単年度での赤字が多いのではないかと、予算の継続性は大丈夫かとのコメントがあった。これについては、会計担当理事が学会誌発行の都合なので問題がないと回答した。また会員が増えているのはいい傾向であるとのコメントがあった。

2019 年度事業計画案

齋藤事務局長より以下の通り計画案が示され、了承された。

1. 春季シンポジウムおよび総会を新潟県朱鷺メッセにおいて開催する（3月23日）。
2. 森林計画学会セミナー及び研究発表会を開催する。
3. 台湾・韓国との国際共同シンポジウム（SFEM2019）として、札幌市かでの2・7にて開催する（8月26-29日）。
4. FORMATH 2020 を共催する
5. 関連する研究集会・シンポジウムを後援する。（予定：森林GISフォーラム地域セミナー・技術セミナー／東京シンポジウム／学生研究コンテスト、信州大学主催スマート林業シンポジウム、森林総合研究所主催 REDD セミナー）
6. 学会誌（和文誌 52(2), 53(1), 53(2), 英文誌 25(1), 25(2)）を発行する。
7. 学会ニュースを発行する。
8. 学会ホームページを管理運営する。
9. 2020 年森林計画学会賞を選考する。
10. 日本農学会に参画する。
11. JABEE（日本技術者教育認定機構）に対応する。
12. 森林・木材・環境アカデミーに対応する。
13. 関連する研究集会・シンポジウムなどを支援する。

2019 年度会計予算案

西園会計担当理事から予算案が示され、了承された。

各委員会報告

出版局（松英恵吾）、企画運営委員会（平田理事）、和文誌編集委員会（村上理事）、英文誌編集委員会（龍原理事）、表彰委員会（加藤理事）、広報委員会（広嶋理事）より活動状況の報告があった。